



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場会社名 株式会社住友倉庫

上場取引所 東大

コード番号 9303 URL <http://www.sumitomo-soko.co.jp/>

代表者 (役職名) 社長 (氏名) 安部 正一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 米満 聡

TEL 06-6581-1183

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	65,059	10.7	4,933	46.6	5,480	51.2	3,288	75.4
22年3月期第2四半期	58,772	△15.5	3,365	△12.9	3,625	△16.6	1,874	△18.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	18.43	—
22年3月期第2四半期	10.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	226,923	111,949	47.4	602.40
22年3月期	235,986	114,377	46.6	616.54

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 107,465百万円 22年3月期 109,988百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
23年3月期	—	5.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	5.2	9,300	17.6	10,100	19.8	5,700	85.7	31.95

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、(添付資料)4ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 195,936,231株 22年3月期 195,936,231株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 17,542,067株 22年3月期 17,540,425株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 178,394,810株 22年3月期2Q 178,400,621株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が緩やかに増加し、設備投資も底入れするなど持ち直しの動きを示したものの、当第2四半期連結会計期間末にかけての急速な円高の進展等により、景気は減速の兆しが現れてまいりました。この間、倉庫・港運等物流業界におきましては、荷動きは国内貨物、輸出入貨物とも復調傾向となりましたが、貨物保管残高は前年同期並みに推移しました。また、不動産賃貸業界におきましては、都心部のオフィスビルの空室率は高止まりし、賃貸料相場は下落を続けました。

このような情勢のもとで、当社グループにおきましては、東南アジアを中心とした国際輸送や港湾運送の取扱拡大に努めたほか、サウジアラビアにおける石化製品に係る現地物流及びその国際輸送に注力するなど、事業活動の強化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、不動産事業は賃料収入の減少等があったものの、物流事業においては港湾運送や国際輸送を中心に貨物の取扱いが回復したほか、前連結会計年度に稼働した配送センターが寄与したことなどから、営業収益は650億5千9百万円と前年同期比10.7%の増収となりました。営業利益は増収効果に加えて減価償却費等の減少もあり、前年同期比46.6%増益の49億3千3百万円となりました。経常利益は持分法投資利益の増加等により54億8千万円と前年同期比51.2%の増益となり、四半期純利益は特別損益の改善等もあり32億8千8百万円と前年同期比75.4%の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①物流事業

倉庫収入は、倉庫保管残高は概ね前年同期を下回って推移したものの、入出庫の取扱いが増加したほか、連結子会社において前連結会計年度に稼働した配送センターが寄与したことから、105億1千1百万円となりました。港湾運送収入は、コンテナ荷捌は前連結会計年度に取扱いを開始した新規航路が寄与したほか、既存航路の取扱いも順調であり、一般荷捌も輸出貨物、輸入貨物とも復調したことから、183億6千6百万円となりました。国際輸送収入は、一貫輸送は東南アジアを中心とした取扱増加や海上運賃の上昇により増収となり、航空貨物の取扱いも回復したほか、海外子会社における貨物取扱いも概ね堅調であったことから、125億3千4百万円となりました。陸上運送ほか収入は、前連結会計年度に稼働した配送センターが寄与したことなどから陸上運送収入が増収となり、186億3千5百万円となりました。

以上の結果、物流事業全体の営業収益は600億4千7百万円となり、営業収益の増加に加え、減価償却費等も減少したことから、営業利益は38億3千3百万円となりました。

②不動産事業

一部テナントの退去や入替えがあったほか、不動産販売が前年同期に比べ減少したことから、不動産事業全体の営業収益は52億1千7百万円、営業利益は29億5千1百万円となりました。

(注) 1. 上記のセグメントの営業収益には、セグメント間の内部営業収益2億5百万円を含んでおります。

2. 上記のセグメントの営業利益は、各セグメントに配賦していない全社費用等18億5千万円控除前の利益であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態について、資産合計は、株式相場の下落により「投資有価証券」が減少し、前連結会計年度比3.8%減の2,269億2千3百万円となりました。また、負債合計は、その他有価証券評価差額に係る「繰延税金負債」の減少や法人税等の支払に伴う「未払法人税等」の減少等により、前連結会計年度比5.5%減の1,149億7千4百万円となりました。純資産合計は、「その他有価証券評価差額金」の減少等により、前連結会計年度比2.1%減の1,119億4千9百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益及び減価償却による資金の留保等により44億4千7百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出等により14億5千6百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や借入金の返済による支出等により17億2千4百万円の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間の連結キャッシュ・フローは、以上の結果に「現金及び現金同等物に係る換算差額」(△1億6千8百万円)を加えた全体で10億9千8百万円の増加となり、現金及び現金同等物の四半期末残高は、115億8千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済情勢につきましては、景気減速の兆しが現れるなど先行きは不透明な状況にあります。当社におきましても依然厳しい事業環境が続いておりますが、港湾運送及び国際輸送における取扱いの回復など、当第2四半期連結累計期間の業績が予想を上回ったことから、平成22年5月13日に公表しました通期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 128,000	百万円 8,500	百万円 9,200	百万円 5,200	円 銭 29.15
今回修正予想(B)	128,000	9,300	10,100	5,700	31.95
増減額(B-A)	0	800	900	500	—
増減率(%)	0.0	9.4	9.8	9.6	—
(ご参考) 前期実績(平成22年3月期)	121,619	7,910	8,433	3,068	17.20

(参考)

平成23年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 79,000	百万円 6,100	百万円 6,700	百万円 4,000	円 銭 22.42
今回修正予想(B)	80,000	6,600	7,300	4,300	24.10
増減額(B-A)	1,000	500	600	300	—
増減率(%)	1.3	8.2	9.0	7.5	—
(ご参考) 前期実績(平成22年3月期)	76,911	5,972	6,387	1,319	7.40

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと見込まれるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

③税金費用の計算

一部の連結子会社においては、税金費用の計算にあたり、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算し、法人税等調整額は、「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は32百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は32百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,110	23,569
受取手形及び営業未収入金	16,262	16,749
有価証券	4	4
販売用不動産	129	185
仕掛品	26	27
繰延税金資産	999	1,093
その他	3,326	3,089
貸倒引当金	△100	△95
流動資産合計	46,758	44,623
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	61,555	63,513
機械装置及び運搬具(純額)	3,556	3,860
工具、器具及び備品(純額)	696	760
土地	46,223	46,222
建設仮勘定	229	400
その他(純額)	63	66
有形固定資産合計	112,325	114,825
無形固定資産		
のれん	637	687
借地権	5,797	6,173
ソフトウェア	2,019	2,152
その他	319	429
無形固定資産合計	8,773	9,443
投資その他の資産		
投資有価証券	51,246	58,899
長期貸付金	633	947
繰延税金資産	512	481
その他	7,113	7,248
貸倒引当金	△440	△483
投資その他の資産合計	59,065	67,093
固定資産合計	180,165	191,362
資産合計	226,923	235,986

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	8,734	9,330
短期借入金	9,869	10,126
未払法人税等	1,743	3,098
賞与引当金	1,534	1,438
その他	4,842	5,342
流動負債合計	26,724	29,337
固定負債		
長期借入金	59,592	60,124
繰延税金負債	12,146	15,162
退職給付引当金	3,160	3,590
役員退職慰労引当金	73	114
長期預り金	12,409	12,440
その他	869	839
固定負債合計	88,250	92,271
負債合計	114,974	121,609
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,822	21,822
資本剰余金	19,177	19,177
利益剰余金	65,657	63,261
自己株式	△9,125	△9,124
株主資本合計	97,532	95,136
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,507	16,098
繰延ヘッジ損益	4	2
為替換算調整勘定	△1,580	△1,250
評価・換算差額等合計	9,932	14,851
新株予約権	64	64
少数株主持分	4,419	4,324
純資産合計	111,949	114,377
負債純資産合計	226,923	235,986

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業収益		
倉庫収入	9,221	10,511
港湾運送収入	15,751	18,366
国際輸送収入	10,882	12,534
陸上運送収入	12,287	12,980
物流施設賃貸収入	2,706	2,597
不動産賃貸収入	4,917	4,884
その他	3,004	3,184
営業収益合計	58,772	65,059
営業原価		
作業諸費	32,637	37,288
人件費	8,045	8,279
賃借料	3,803	3,840
租税公課	1,020	914
減価償却費	2,928	2,765
その他	3,166	3,414
営業原価合計	51,601	56,503
営業総利益	7,170	8,555
販売費及び一般管理費		
給料手当及び福利費	1,852	1,827
賞与引当金繰入額	360	341
退職給付費用	131	114
のれん償却額	163	49
その他	1,295	1,287
販売費及び一般管理費合計	3,804	3,621
営業利益	3,365	4,933
営業外収益		
受取利息及び配当金	535	655
持分法による投資利益	100	277
その他	168	123
営業外収益合計	805	1,055
営業外費用		
支払利息	444	404
その他	101	104
営業外費用合計	545	509
経常利益	3,625	5,480

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	—	98
特別利益合計	—	98
特別損失		
固定資産除却損	72	49
投資有価証券評価損	198	157
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	32
特別損失合計	271	238
税金等調整前四半期純利益	3,353	5,340
法人税、住民税及び事業税	1,762	1,686
法人税等調整額	△374	203
法人税等合計	1,387	1,890
少数株主損益調整前四半期純利益	—	3,450
少数株主利益	90	162
四半期純利益	1,874	3,288

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,353	5,340
減価償却費	3,247	3,094
のれん償却額	163	49
引当金の増減額(△は減少)	307	△382
受取利息及び受取配当金	△535	△655
支払利息	444	404
持分法による投資損益(△は益)	△100	△277
有形固定資産除却損	72	49
投資有価証券評価損益(△は益)	198	157
売上債権の増減額(△は増加)	△420	405
仕入債務の増減額(△は減少)	△44	△556
その他	697	△327
小計	7,383	7,302
利息及び配当金の受取額	539	663
利息の支払額	△475	△416
法人税等の支払額	△268	△3,101
法人税等の還付額	1,200	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,380	4,447
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,533	△10,524
定期預金の払戻による収入	710	9,069
有形固定資産の取得による支出	△546	△555
有形固定資産の売却による収入	23	57
無形固定資産の取得による支出	△229	△169
無形固定資産の売却による収入	—	418
投資有価証券の取得による支出	△3,158	△18
貸付けによる支出	△82	△80
貸付金の回収による収入	74	311
その他	5	35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,737	△1,456
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,162	4,426
短期借入金の返済による支出	△6,312	△4,383
長期借入れによる収入	378	200
長期借入金の返済による支出	△1,417	△1,032
配当金の支払額	△890	△892
その他	△95	△41
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,174	△1,724
現金及び現金同等物に係る換算差額	226	△168
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,305	1,098
現金及び現金同等物の期首残高	14,669	10,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,363	11,583

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益					
①外部顧客に対する営業収益	53,708	5,063	58,772	—	58,772
②セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4	96	101	(101)	—
計	53,712	5,160	58,873	(101)	58,772
営業利益	2,556	3,086	5,642	(2,277)	3,365

(注) 事業区分の方法は、当社及び連結子会社が経営管理上採用している区分によっており、各区分に属する主要な業務は次のとおりである。

物流事業……………倉庫、港湾運送、国際輸送、陸上運送等の各業務
不動産事業……………事務所及び土地等の賃貸、管理業務

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

	日本 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益					
①外部顧客に対する営業収益	54,383	4,389	58,772	—	58,772
②セグメント間の内部営業収益 又は振替高	290	1,765	2,056	(2,056)	—
計	54,673	6,154	60,828	(2,056)	58,772
営業利益	5,516	125	5,642	(2,277)	3,365

(注) 1. 国又は地域の区分は、主な国又は地域のそれぞれの属する営業収益及び資産の金額が少額のため、その他の地域で一括して記載している。

2. 日本以外の区分に属する主な国又は地域
その他の地域・・・アジア、ヨーロッパ、北米

【海外営業収益】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

海外営業収益が連結営業収益の10%未満のため、記載を省略している。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものである。

当社は、国内及び海外の子会社等と連携し、倉庫業、港湾運送業、国際輸送業、陸上運送業ほかの「物流事業」を展開する一方、本社に専門の部署を設置し、保有不動産の有効活用を中心として、不動産賃貸業や不動産販売業等の「不動産事業」を推進している。なお、「物流事業」の各業務は、いずれも総合物流業の一環として、相互に関連しており、経営管理上は不可分なものとして扱っている。

従って、当社は、営業体制を基盤としたサービス別のセグメントから構成されており、「物流事業」及び「不動産事業」の2つを報告セグメントとしている。

2. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	60,042	5,016	65,059	—	65,059
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4	200	205	△205	—
計	60,047	5,217	65,264	△205	65,059
セグメント利益	3,833	2,951	6,784	△1,850	4,933

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,850百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,848百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はない。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用している。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

「セグメント情報等の開示に関する会計基準」及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」に準拠した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は以下のとおりである。

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	不動産事業	計		
営業収益					
外部顧客に対する営業収益	53,708	5,063	58,772	—	58,772
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	4	191	195	△195	—
計	53,712	5,254	58,967	△195	58,772
セグメント利益	2,263	3,011	5,275	△1,909	3,365

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,909百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,897百万円が含まれている。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社及び一部の連結子会社の管理部門に係る費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(参考) セグメント別の営業収益内訳

内訳	前第2四半期 連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前年同四半期比増減	
			増減額	比率%
物流事業	53,712百万円	60,047百万円	6,334百万円	11.8
(倉庫収入)	(9,221)	(10,511)	(1,289)	(14.0)
(港湾運送収入)	(15,751)	(18,366)	(2,614)	(16.6)
(国際輸送収入)	(10,882)	(12,534)	(1,651)	(15.2)
(陸上運送ほか収入)	(17,856)	(18,635)	(778)	(4.4)
不動産事業	5,254	5,217	△37	△0.7
(不動産事業収入)	(5,254)	(5,217)	(△37)	(△0.7)
計	58,967	65,264	6,297	10.7
セグメント間内部営業収益	△195	△205	△9	△5.1
純営業収益	58,772	65,059	6,287	10.7